



もみ殻超微粉化シリカは体に元気を与え、美容にも計り知れない効果をもたらす。シリカのお話です。

もみ殻を超微粉化し、シリカとして体に吸収しやすくしました。順植物性で混ぜもの、化学物質添加なし。

あなたは健康ですか？

あなたは綺麗に生きていますか？

あなたは将来が不安ですか？

3つの質問に疑問を感じたら、このサイトの全く混ぜ物のない、また、薬品を使用していない食材としてのもみ殻を超微粉化したシリカのお話を読んでください。

一般的にシリカとは？

1、シリカは全身に存在します。

- ① 血管、骨、軟骨、毛髪、リンパ腺、筋肉、歯、爪、気管支など。
- ② 全身の臓器、組織の再生を助けるシリカ。

2、シリカは2番目に多い。

- ① 地球表面上で酸素の次、2番目に多い元素です。

3、シリカの組成は？

- ① 単細胞植物、プランクトン、珪藻が化石化したもの。
- ② 永年、海底、湖底、地中に積り「ケイ素の層」になったもの。

4、シリカは体内で作れない。

体から毎日 10~40mg 消費しますが、加齢で保持力が低下するので、補充することが最適です。

どのようなシリカが体に適切なのでしょうか？

当社が推薦するシリカはもみ殻由来の超微粉化シリカ(非晶質)

稲は地中の結晶シリカの分子を一つ一つ剥がし、その分子をもみ殻内に万遍なく高濃度で表面に蓄積し種子を保護します。

正に神秘的な現象で、この稲由来の非晶質シリカこそが安全で、人体を形成するうえで必要不可欠な無害物質です。



● 田んぼに生える稲



● 稲を脱穀すると「もみ」になる。下記は玄米を取った後の「もみ殻(シリカ含有)」です

● もみ殻を超微粉化(シリカ含有:これで食べられます)

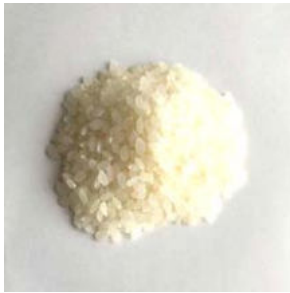


● もみ殻を取ると「玄米」になります

● 玄米の外側が「ぬか」です



● ぬかを取ると「白米」になります



もみ殻超微粉化シリカの特徴

- 1、類をみない技術で製造された高濃度のシリカです。
- 2、単分子化(非晶質)と圧倒的な含有量 23.5g/100g。
- 3、安全性:急性経口毒性試験、遺伝毒性試験などを実施しております。
食したシリカは3~6時間かけて尿から排出される。
- 4 圧倒的優位な価格。
- 5 安定した生産能力、供給体制。
- 6 「もみ殻微粉化技術開発と新事業化」を申請し、平成 26 年度、経済産業省から認定を受けています。



もみ殻超微粉化シリカを使用した商品開発の 多様性・効果。

- 1、量産化、安定供給、価格面の構築でシリカ市場に開発の多様性が生まれ、用途拡大が期待されます。

もみ殻超微粉化シリカは、あまりに微粉体のため袋の開け締めで粉が飛びますので、写真のようにネジ蓋付きのガラス瓶へ入れられることをオススメします。

鉱物由来と植物由来シリカの比較

工業製品の非晶質シリカと、もみ殻等植物由来の非晶質シリカを同様視し、有害であると主張する方が多数存在するが、大きな間違いですので、正確な事に関して以下解説します。

二酸化珪素 SiO_2 (以下シリカと称す)は石英、鱗珪石、等で含有量は全地殻の12%も結晶体として存在し無尽蔵です。地球誕生と共に存在しています。この結晶シリカを工業的手法により非結晶化した物が非結晶シリカとして市場に存在しています。今迄は非晶質シリカと言えば当然工業的手法により非結晶化した物(合成シリカとも言う)を指していました。

しかし、この合成シリカの工程を調査した所、燃焼法等により鉱物シリカを1次粒子として5nm~55nmに微粉化、これを凝集させ50 μ ~500 μ の塊を非晶質シリカと称しているようです。

凝縮させたから非結晶とされているのかも知れませんが、分子工学的見解で判断すると1次粒子5nmでも単分子1950個の結晶で、55nmに至っては \approx 260万個の結晶です。化学工業薬品原料としては凝集させているから非結晶と称しているのかも知れない。

厚生労働省の化学物質リスク研究報告書(ナノマテリアルの経度毒性に関するトキシコキネティクス



およびトキシプロテオミクス等の有害性評価法・リスク予測法の開発)によれば 40nm の合成シリカでも有毒性が確認されています。

OECD の合成シリカの毒性報告 (Screening Information Data Set For High Volume Chemicals OECD Initial Assessment)によると1~350 μm の合成非結晶シリカのヒトの健康被害が報告されている。(以下引用)非結晶(アモルファスシリカ)の超微粒子は、人が吸収、分布、排出:SAS 型(CAS No7631-86-9)は実験動物の長期吸入ばく露でも、その後、肺組織から速やかに排出され、縦隔リンパ節に過剰に分布しないのに対して、結晶型は肺とリンパ節に蓄積および残留する顕著な傾向を示す(引用ここまで)と報告されており、SAS の腸管吸収はヒトと動物において少ないようです。吸収された SAS は腎臓により速やかに排出される証拠が存在する。

結論としては工業手法による非結晶シリカは結晶シリカの凝集で、稲由来のような非結晶シリカでは無い、ヒトや動物に有事である。その他、工業手法による完全非結晶シリカと称している物が市場に高価で販売されている。

製造方法は石英や水晶を微粉碎し、2000 度以上の高温でプラズマ化、急冷して非結晶シリカを製造するが化学理論上 100%の効率は達成不可能であります。従って相当量の結晶シリカが存在すると思われるため、人体にとって非常に危険な物と推測されます。

鉱物シリカと違い完全無害であるもみ殻等植物由来のシリカは不純物(セルロース)と共存する単分子のシリカです。

不純物は単分子シリカの構成上絶対条件です。もみ殻のシリカ含有量は 100g 当り 23500mg と食物の中で比較的含有量の多いじゃがいもの実に 117 倍にも及ぶ含有量です。

ヨーロッパではシリカについて、かなり前から研究し、植物由来のシリカは人体を構成する重要な物質であることを解明しています。そして、10 数年前からサプリや医薬品として普及し、一般家庭では常備薬として保管されています、また、某サプリーメーカーは代理店 12,000 軒 15 年以上、売上 No.1 です。その市場は膨大です。

さて、今でも安全性を疑問視し、シリカは危険であると思われる方は、もみ殻等に含まれる純粋非結晶シリカと化学工業で作られた非結晶シリカの区別を見出して頂き、世界の現状を知って頂きたいと思えます。疑問視している方は前述の厚生労働省の毒性報告書のナノシリカと植物由来のシリカを混同したためです。

医薬品としてのヨーロッパのシリカの原料はタイのもみ殻発電所の排出するもみ殻焼却灰をドイツのメーカーが一手に引き受け比較的高価で買い取っています。ドイツの水溶性シリカはもみ殻を焼却するともみ殻の生粉碎に比べ 1/3 に減少する(常滑の窯業技術センターの報告書による)そのため焼却温度をなるべく低くするよう要請していると聞いています。

また、現在日本でも鉱物から水溶性シリカを作っているところもあるようですが、消費者へ向けての注意が出されています。

日本では世界に先駆けてもみ殻を生粉碎したもみ殻微粉末の製造に成功、しかもミクロン単位の微粉です。これにより多くの効果をあげています。

もみ殻シリカでも粒度が荒いとザラツキ感が大きく、食用に適さないだけでなく、硬いシリカの突起等で



内蔵の損傷が予想され危険です。当社のもみ殻超微粉化シリカが超微粉体のままなのはこのためです。また、吸収も良いです。

もみ殻超微粉化シリカの食材としての重要性

もみ殻はそのままでは食べられるような代物ではないですが、表面のシリカが硬すぎて口の中を傷めるだけで無く食物繊維が強すぎて歯が立たないのです。

もみ殻を超微粉化すれば人体にとって重要な食材と成る事は解っていましたが世界中で不可能でありました。しかし、そのもみ殻の超微粉化に成功しました。

もみ殻の主成分 セルロース類 ≒ 75%

非結晶シリカ ≒ 23.5% (内シリカ 99%、残各種ミネラル 1%)

ここで最も注意すべきは他の食品と比較してもみ殻非結晶シリカは比類無き含有量である(後述)ということと非結晶シリカは人体にとって重要な役割を果たしているということです。もみ殻微粉末シリカを熱湯で溶かし冷めたら飲むのですが、微粉末であっても喉のあたりに幾分ざらつき感がでますので、お嫌なら様々な食材に混ぜて食べることが出来ます。



ドーナツなどのお菓子に！



パンやコーヒーにどうぞ！



お米を炊くときに入れて！

鉱物由来のシリカについて

人体にとって鉱物由来のシリカの役割は殆んど無く、むしろ有害とされています。独立行政法人医薬基盤研究所の研究報告によれば鉱物由来のシリカ(水晶等)はナノレベル(70nm)の微粉末でも経皮毒性がみられ、また、肝機能障害を起こすことが発表されています。これを非結晶のシリカと混同し、化粧品や一部のサプリメントに混入されている物もあり注意が必要です。

人体に必要なシリカは非結晶でなければならないのです。結晶シリカ(水晶、石英)を人工的に非結晶化は可能であるが多額の設備費用と出来た非結晶のシリカは高価(¥5000/1g)となり応用は限定され多量に使用することは出来ないのです。

更に高温で非結晶化しても製造過程で100%の効率は有得ないので結晶部分の物はナノ化していても相当残留している可能性が予測されます。

稲由来のシリカ

植物の神秘と言うほか無く稲は地中の結晶シリカの分子を1ヶ1ヶ剥がし、その分子をもみ殻内外にまんべんなくそれも高濃度で表面に蓄積し、種子を保護するのは正に神秘です。この非結晶シリカこそが人体を形成する上で必要不可欠の物であると断言しても過言では無いのです。

もみ殻と市場で入手可能な食材とのシリカの含有量の比較、比較的含有量の多いジャガイ



もの 117 倍、大麦の 100 倍、某社のシリカサプリの 5 倍以上と非常に優れています。こんな重要なもみ殻が微粉化技術により食品材料として完成されたのであります。



原料規格書

品名	もみ殻超微粉化シリカ
原材料	有機籾殻微粉末
生産国	日本
原料最終加工	埼玉県

1回の摂取量5g【コヒースプーン山盛り1杯】

成分 (/100g)	エネルギー熱量	149kcal
(/100g)	水分	8.5g
	タンパク質	2.2g
	脂質	0.8g
	糖度	1.6g
	食物繊維	63.1
	灰分	23.8
	ナトリウム	0.0076g
	食塩相当量	0.1g
	カルシウム	0.061g
	シリカ含有量	23.5g

一般生菌数	1400から1800/g以下
大腸菌数	陰性

備考1：検査方法：栄養表示基準における栄養成分等の分析方法等について（衛新第13号平成11年4月26日）による。

備考2：熱量換算係数：タンパク質：4、脂質：9、糖質：4、食物繊維：2

備考3：100-（水分+タンパク質+脂質+食物繊維+灰分）

ヒ素	不検出
重金属	不検出



もみ殻超微粉化シリカについて

「もみ殻微粉化技術開発と新事業化」を申請し、平成 26 年度、経済産業省から認定を受ける。

飲用方法 微粉末の場合

①熱湯に5～8gを毎日2回(朝食後と就寝前)溶かし飲用(お湯が冷めてからコラーゲンを入れても良い)平時、食物繊維の多い食事をされている方は 3g～5g、肉食の多い方は 5g～8g ぐらいが良いでしょう。

一般のシリカの効用について引用文献等から要約する。

1、体内毒素の排出効果、細胞への水分補給及び保持。

2、全身に存在するシリカ。

血管・骨・軟骨・毛髪・リンパ腺・筋肉・歯・爪・気管支・腱・他を構成するには無くてはならないものがあります。これらの器官の水分保持により老化を遅らせる効果があるとされています。

3、骨粗鬆症の予防及び改善。

骨の成長及び劣化の防止にはカルシウムとシリカで構成されている必要がありますが、どちらが不足しても役割は果たせません。カルシウム食材は多種類存在し、簡単に入手出来ますがシリカ食材は少なく(存在しても含有量が少ない)充分摂取出来ないのが現状ではないでしょうか。年齢を重ねると共にシリカの吸収力は劣化しますので補給する必要があります。シリカの補給は特に女性の方に骨粗鬆症予防対策として必要と思います。

4、動脈硬化の予防及びコレステロールの除去。

シリカが血管の柔軟性を保ち硬化を防ぎます。

5、肌の潤いや老化を遅らせます。

コラーゲン、ヒアルロン等は体に吸収、作用させるにはシリカが不足すると極端に劣化します。もみ殻中には他と比較して大量のシリカが含まれるためこの効果は確実です。

6、シリカは大腸及び直腸の壁面に膜を作り壁面の保護効果だけでなく、便の通りを良くするため便秘の予防効果だけでなく多くの効果がある。

もみ殻のシリカの含有量は他の食品と比較すると桁違いに多く含有しています。

大麦若葉の 65 倍、皮ごと小麦の 400 倍、と問題にならない量である。

日本ではシリカの重要性はまだ広範囲に知れ渡っていないようであるがドイツを始めとする EU 等では 15 年以上前から家庭の常備薬として普及し、また、サプリメントとしては売上 No.1 となっています。

7、シリカは失われてゆく神経細胞など修復してくれるという研究結果もあります。

つまり、認知症対策に良いのではとされています。また、ミトコンドリアもシリカが無ければ活発に動く事が出来ません。



もみ殻を微粉末化したものです



もみ殻超微粉化シリカ摂取報告書

(この摂取報告はもみ殻超微粉化シリカをサプリや薬品ではなく、もみ殻超微粉化シリカを開発した研究所から一般の方へ食品として食して頂いた結果をお聞きしたものです。また、この報告は全て個人的なご意見であり、効果・効能を謳ったり保証するものではありません。また、食品としてお渡す前に、安全性については急性経口毒性試験、遺伝毒性試験などを行っており、衛生面については保健所の許可を頂いております。食したシリカは3~6時間かけて尿から排出されます。)

もみ殻超微粉化シリカが良いということは分かっておりましたが、ここに記されているもみ殻摂取のモニターの報告を知って、もみ殻超微粉化シリカが体内環境に及ぼす影響がこれほどだとは想像していなかったため、この報告書を読み、改めて世界中のシリカに関する研究論文などや一般に出ている研究結果など調べてみました。

その結果、人間が生きていく上でのシリカの影響は想像以上で人体でのシリカの様々な働きや、他のミネラル、ビタミン、アミノ酸の働き、筋肉や骨など殆どの人体の要素にも関わるものであると確信した訳です。

シリカは地球上に最も多く存在するものであり、カルシウムの吸収、骨と歯を丈夫にする、ビタミンDの働き、グルコサミンの合成、ミトコンドリアの活性源であり、軟骨組織の生成、皮膚のコラーゲンの生成、など身体の健康、美容において絶対に必要なミネラルであるということです。

地球上では炭素の次に多く存在し、多くの食材に含まれています。シリカがコラーゲンの働きに関わる重要なものであることを考えると、性別年齢を問わず必要な必須ミネラルであり、健康的な生活を送るにあたっては毎日摂るべきミネラルであると思います。

私達は子供のころから親に言われ続けて摂取してきたカルシウムでさえ、骨をつくる際にはシリカが必要になります。シリカが豊富に含まれる食材としては、もみ殻超微粉化シリカについてを参考にして頂きたいのですが、特にもみ殻超微粉化シリカは抜群の含有率を誇ります。

現在の日本人の食生活を考えると、爪が薄くなってきた、割れやすい、筋が目立つ等の問題を訴える方が多く、その点でもシリカが含まれた食材の摂取量が少なくなっていると判断できます。

また、体を構成するタンパク質の約30%を占めているコラーゲンは、皮膚・靱帯・腱・骨・軟骨・血管・気管・髪・爪の結合組織を形作っていますが、シリカを補給しなければ、それらも徐々に弱って行くことになり老人化が早くなると言うこととなります。

さて、モニター報告ですが、もみ殻超微粉化シリカの摂取量は1日当たり体重にも依ります

微粉末の場合 ①熱湯に5~8g(コーヒースプーン山盛り1杯位)を毎日朝食後なるべく180cc程度の熱湯に混入、温度が40℃以下になったら、コラーゲンを添加し、かき回し一気に全部飲んでいただきました

実際にご過程で食する場合は①熱湯にコーヒースプーン山盛り1杯位を毎日2回(朝食後と就寝前:6時間で前に飲んだシリカは体外へ排出されるため2回に分ける)なるべく180cc程度の熱湯に混入、温度が40℃以下になったら、コラーゲンを添加し、かき回し一気に全部飲むと良いとされています。平時、



食物繊維の多い食事をされている方は 3g~5g、肉食の多い方は 5g~8g ぐらいが良いでしょう。

熱湯に混ぜる目的は多少なりともシリカの吸収を増大させる狙いがあります。また、コラーゲンを混ぜることにより他の食品中のカルシウムを取り込み軟骨生成の条件が整い健康上、非常に良好な効果が期待できます。あらゆる食品と混ぜてもシリカと食物繊維は問題ありません。体重にもよりますが、シリカの必要量を計算すると大人が 1 日に失われるシリカが 10mg~40mg である事を考えると、もみ殻超微粉化シリカでは 1g(シリカ含有は 235mg)でも充分ですが、7g程度摂取すれば食物繊維も充分確保されることとなります。

1、便秘の解消

食物繊維による便の硬化を防ぐと共に腸内善玉菌の活動を促進し(脳細胞を働かせる物質のセロトニンの 95%、人間のやる気を起こすドーパミン等は腸内善玉菌が生成する)更に高齢化すると排便の力が低下するため若い人より便秘になりがちになります。もみ殻のシリカは腸壁に便の通りを良くする皮膜を形成し少々便が硬くなっても排便し易くなります。

大分前ではあるが某大学の横●●●博士の報告書によると便秘により生成する、過腐敗便によって生成される物質(猛毒のアミン)は基本的免疫力を低下させるだけでなく腸壁の著しい損傷効果が確認されています。

そのため大腸癌や直腸癌を誘発、特に女性は若い内は免疫力が充分であるが加齢と共に免疫力が低下するとそれが原因で乳がんを発病し大腸に癌が転移したとされているが転移でなく同じ物質が原因であると推測されます。

生活習慣病(高血圧、糖尿病)の原因となる他、過腐敗便は脳卒中及び心筋梗塞の重要な原因であることを解明しています。脳卒中及び心筋梗塞で亡くなった人の大腸から共通して過腐敗便が確認されていると報告されています。大変重要な事であると確信しています。

何処かの文献にシリカは大腸癌や直腸癌の予防効果があるとの記述がありました。もみ殻中の大量のシリカと食物繊維の効果により大腸や直腸が保護され正常化されることは明確であると言え、従って大腸癌や直腸癌の予防効果が推測されるのは当然であります。

通常の便秘であれば摂取後 1~2 日で大部分の方が解消します摂取量を多少、多めにすると効果は増大、取り過ぎると軟便になるとの報告をうけています。(例:小さじ 1/3 位でも下痢になる方もいらっしゃいますが摂取が短期間では全く影響を受けない方もおられます)

・ 67 歳の女性

重度の便秘、便秘薬(品名は不明)1日 40錠ほど服用していて苦しんでいた何とか助けてくれと懇願され、もみ殻超微粉化シリカを提供する、7日後のメールによると摂取後 2 日で便秘は解消され、6 日目に今までに無い大量の悪臭排便があり宿便も解消こんなに壮快になるとは信じがたいと報告を受ける。

・ 75 歳の世界的な有名な物理学者

便秘で長年苦しんでいた、もみ殻超微粉化シリカを提供、翌日便秘は解消。



副作用がなく便秘にこんなに効果があるとは驚いていた。66歳の男性も同様宿便が服用5日目で排出、便秘解消効果はもみ殻超微粉化シリカ摂取者殆んどすべての人に効果があった。

・ET おやじの独り言

一般に薬局で販売されている便秘治療薬●●●●●●は長期間使用すると血中のマグネシウム濃度が上がり、認知症やめまいを起こす可能性があります。更に便秘治療薬●●●●●●は多量に服用すると腸壁を損傷する恐れがあると言われています。処方を見捨てて重度の便秘症で、1日40錠も飲んでいたら人もいました(前述)。

副作用の少ない便秘薬としては漢方薬があるが非常に高価で、飲み続けるには躊躇している。便秘治療薬は長期間服用し続けなければならないために副作用は慎重に調査する必要があります。本来医薬品と認定されている物は治療効果の他副作用があるため認定のハードルが非常に高いものです。

もみ殻超微粉化シリカは100パーセントもみ殻であるから小麦由来製品と根本的に違いアレルギーは見られず、従って副作用がなく魔法の粉と言われています。

2、骨粗鬆症の解消

もみ殻中に含有する大量の完全な形でのアモルファスシリカ(非結晶シリカ)は勿論、単分子で0.4nm程度とされています。他の文献でも明確ですが、骨や軟骨を形成するには、先ずコラーゲン等のタンパク質が存在しなければ成立しません。もみ殻超微粉化シリカ中の大量のアモルファスシリカはコラーゲンやヒアルロン酸等タンパク質の吸収を促進し、人体の各部分を構成する元となるため絶対に必要です。ヨーロッパでは20年以上前から重要視され、医学会は元より一般でも広く普及しています。シリカは一般家庭には常備薬として用意されています。

骨及び軟骨はコラーゲンとカルシウム(Ca)とシリカ(SiO₂)が不足すると作れず、食品中にはこの大切なシリカは殆んど存在しないのであって多いとされている大麦若葉でさえ、もみ殻の1/100程度で、これを大量に摂取するのは事実上不可能であり、更に中年以降、年を取るに従いシリカの吸収力は低下していきます。特に年配女性はホルモンバランスとシリカの不足が関係して多数の人が骨粗鬆症に苦しんでいるのが現状です。

今迄、日本では骨はビタミンDとカルシウムが不足すると骨が弱くなると考えられカルシウムさえ補給すれば良いとされ、カルシウム関連の医薬品やサプリが存在しています。ところがカルシウムやコラーゲン等のタンパク質類は特別な配慮は不必要で、適切な食事を取るにより充分摂取可能です。

現代食生活事情は高度成長期以前に比べ豊かになりタンパク質やカルシウムは普通の食事でも充分摂取されています。それに伴って炭水化物や脂肪はやや過剰みで配慮する必要があります。昔に比べ格段に良質な食事情の中で高齢者の増加はあるものの依然として骨粗鬆症に苦しむ人々は増加傾向にあります。食品中にはシリカは殆んど無く不足しているためであろうと思われれます。

もみ殻超微粉化シリカには大量のシリカが含まれ実に大麦若葉の65倍以上で、骨粗鬆症の改善に著しい効果があると報告されています。予測通りもみ殻超微粉化シリカを摂取してもらった所、骨粗鬆症の解消および骨折の回復が著しく速い等多数報告されています。



・73 歳女性

医院で骨粗鬆症と診断され治療を続けていたが、もみ殻超微粉化シリカ摂取後 2 ヶ月程で骨密度が改善し医師から治療薬は不必要と通告されました。現在、薬は飲んでいません。その他、膝痛も治り更に何となく体の調子が良いと感謝されています。

・96 歳女性

今迄何回か骨折した骨粗鬆症のため骨が脆くなっていて骨折部の接合が大変遅く苦しんでいました。もみ殻超微粉化シリカの事を聞きつけ是非摂取したいと連絡を受け飲んで頂いていたところ、摂取後約 3 ヶ月で椅子から落下し腰を骨折(腰の何処かは不明)したが、骨折部の回復の速さが以前と比較して半分以下と速く、医者が信じられないとの事であったようです。その後、骨がだいぶ強くなったと思われ半年以上骨折の報告はありません。勿論、もみ殻超微粉化シリカは摂取し続けています。

・71 歳男性

バイクで走行中、車と衝突、肋骨 2 ヶ所骨折、更に足も躓かれましたが、もみ殻超微粉化シリカを約 3 ヶ月摂取した後であり、入院した医師の話によると骨折の回復が同年齢と比較すると格段に速かったようです、また、足のダメージからすると骨折しても当然であると思われたが精密検査しても実際には骨折はなかったということです。これはもみ殻超微粉化シリカが効力を発揮して骨が強化されていたためと想定される

・75 歳男性(前出)

長年膝痛で苦しんでいて 100m 連続で歩くのがやっとであったが、もみ殻超微粉化シリカを摂取 1 ヶ月も経ない内にいつの間にか長年の膝痛が解消しただけでなく、時々あった関節痛や筋肉痛も解消したが、これは硬直した筋肉等の正常化と軟骨の回復と推測されます。その他、多数の人からお礼の言葉を頂いています。

・ET おやじの独り言

骨粗鬆症の治療薬としてビタミンD材やフォルテオ、エストロゲン、等数種類ありますがフォルテオ、エストロゲン等は長期に服用すると、個人の体調の状態によっては重大な副作用(発癌等)をお誘発するため服用には慎重を要するとされています。骨粗鬆症の薬は長期に渡って服用し続けなければならないため副作用については慎重に調査する必要があります。

ビタミンD剤、これは日本では余り意味がありません、通常であれば日本では強い太陽光を浴びているため(夏の関東地方なら顔を出し、半袖で約5分間浴びれば良い)皮膚で合成され、ビタミンDが不足するとは考えられないのです。過剰摂取は無意味であり、あまり効果は無いと思われます。もみ殻超微粉化シリカを摂取したところ副作用は皆無であるばかりでなく骨折の回復が異常に早く早期に退院する様で、軟骨、骨の回復に著しい効果があるのは間違いない事実であるようです。

3、体の痛みの解消

前述の通りもみ殻超微粉化シリカ中のシリカの効力によりカルシウムとコラーゲンやヒアルロン酸等タンパク質の吸収を促進させるため、骨の再生を促し、高齢化により硬直した筋肉の改善と共に軟骨の再生をも促します。そのため高齢者の体各部の痛みを解消する事になると思います。高齢者の間接痛、



筋肉痛等、体中の痛みの解消は数名、大工、建設、土木作業等重労働者の作業翌朝の痛みが著しく軽減された報告があります。

・84 歳の男

体中の痛みで専門医に治療を受けていた、治療後少しの間治るが、また少し経つと痛み出す始末であった。もみ殻超微粉化シリカを摂取したところ 1 週間で治りビックリ感動しているとの事。多少摂取を続けると摂取をやめても症状の根本が改善するため発症しなくなるようです。

・79 歳の男性

自宅工場の引越しでかなりの重労働をする、今迄では翌朝体中痛くなるのが当然と覚悟していたが翌朝起床したところ痛みは殆んどなかった。もみ殻超微粉化シリカ摂取後 1 ヶ月位であったことです。

・85 歳の女性

時折、体中痛みだし動くのもやっとで悲鳴を上げていた長男(58 歳)が知人と共に来社、もみ殻超微粉化シリカを提供する 10 日後報告があり、もみ殻超微粉化シリカ摂取後 6 日で痛みは解消その後の発症は皆無であるとの報告を受ける。これはほんの一例にすぎない。

4、頭髪等体毛の回復

髪の毛等体毛は毎日伸び続けています、タンパク質類とシリカが重要な役割を果たし成長しています。不足すると髪の毛等は生育が阻害され先ず髪の毛等は細くなって弱くなります。従って自然脱毛や整髪時に櫛を通すと櫛に抜けたり切れたりした髪の毛が多く付着します。

今迄髪の毛等体毛の生育にシリカが重要な要素である事は文献を調べても医学会を含めて認識は無かったようです。

もみ殻超微粉化シリカを便秘対策として摂取している人が散髪屋で頭髪の白髪が減少し黒髪が増えてきたと指摘され気がつく人が多いようです。下記に例を記述します。

・76 歳男性

頭髪の禿げは無いが真っ白でした。もみ殻超微粉化シリカ摂取後 2~3 ヶ月ごろ散髪屋の人が何か白髪が元から黒くなってきたとの指摘をうけ、確かに良く見てみたら白髪が減少しかかっていたのを発見。一年後の現在白髪の中に相当量の黒髪が生え胡麻塩状態まで回復したようです。

・66 歳男性

もみ殻超微粉化シリカを摂取、摂取前は白髪が増え、また、抜け毛も有り歳のせいと諦めていた、摂取約 4 ヶ月位で頭髪は太くなり風呂場での抜け毛及び寝就後の朝枕に付着するはずの頭髪の抜け毛はなくなった。髪の毛の腰が強くなったと体感する、更に頭髪と共に他の体毛の白髪は減少したと報告をうける。

・73 歳男性



もみ殻超微粉化シリカ摂取期間不明、2016年5月25日自動車免許紛失、再発行のため写真撮影する、パスポートの2015年8月6日撮影の写真と比べ驚いた。2015年の写真と比べ10ヶ月足らずの期間にも関わらず頭髪の白髪が減少、更に黒髪が大幅に増加(写真)でびっくり、もみ殻超微粉化シリカが頭髪や体毛の増加にこんなに効果があるとは信じられないことである。

5、肌の若返り効果

もみ殻超微粉化シリカに大量に含まれるシリカの効力はヨーロッパ最大のシリカサプリメントメーカーによると真っ先に出てくるのがシリカによるコラーゲンやヒアルロン酸等のタンパク質の吸収を増やし、肌の保湿効果を増大させシワの解消にも役立つと表記されている。どんなにコラーゲンやヒアルロン酸を補給しても、美容エステに通っても、シリカが不足すると効果は得られないのです。シリカの効果として老化を遅らせる効果があると文献に記載されている。

・66歳女性 58歳女性ほか数名

肌の色艶が同年齢と比較して良く、肌のきめ細かさが向上し、計測したところ肌年齢も10歳以上若いと化粧品店の美容部員に言われた。

・68歳男性

もみ殻超微粉化シリカ摂取前、顔の色艶は乾いたように活気が無く年齢以上に老け込んでいた。もみ殻超微粉化シリカ摂取後2ヶ月後位に会ったところ摂取前とは比較にならない程シワも減り肌の色艶がよくなっていた、相当若返ったと本人はよろこんでいた。女性だけでなく男性にも効果がある。

6、その他の報告

糖尿病患者の血糖値をさげる効果、血圧の緩やかな降下作用、大腸内の清浄化、免疫力の向上等である。

・69歳の女性

便秘対策としてもみ殻超微粉化シリカを提供する。この女性は軽度の糖尿病であった。もみ殻超微粉化シリカ摂取後2ヶ月位でヘモグロビンA1Cが8.6が6.5に低下、摂取を中断したところヘモグロビンA1Cが上昇してきたと連絡をうけ、再びもみ殻超微粉化シリカを提供する。血圧も徐々に降下してきた。

・79歳及び76歳の男性

大腸内を内視鏡検査したところ、この歳では両名共信じられない程腸内はきれいであった。シリカによる腸壁の保護効果と食物繊維による便秘の防止効果は過腐敗便の発生を抑える。腸壁のストレスが減少した為ポリープは消滅した。

文献によるとシリカは大腸壁に保護膜を形成し便の通りを良くするため、大腸癌や直腸癌の予防効果があると記されています。

以上、もみ殻超微粉化シリカを開発した研究所からの報告を記載しました。



様々な結果が報告されておりますが、この、もみ殻超微粉化したシリカを国内は勿論ですが世界へ向けて供給したいとのこと。特に医療関係、サプリーメーカー、食品関係の方などご質問があれば、是非ご連絡下さい。

安心して飲んで効果があるのはケイ素 (Si) ではなく、二酸化ケイ素 (SiO₂ の非結晶シリカのみである)

ケイ素(Si:シリコン)と二酸化ケイ素(SiO₂:シリカ)の違い

ケイ素(けいそ、珪素、硅素、英: silicon)は、原子番号 14 の元素である。元素記号は Si。原子量は 28.1。「シリコン」とも呼ばれる。

二酸化ケイ素はケイ素の酸化物で、地殻を形成する物質の一つとして重要である。組成式は SiO₂。シリカ(英: silica)、無水ケイ酸とも呼ばれる。

シリカ(英: silica)は、二酸化ケイ素(SiO₂)、によって構成される物質の総称。シリカという呼び名のほかに無水ケイ酸、ケイ酸、酸化シリコンと呼ばれることもある。

純粋なシリカは無色透明であるが、自然界には不純物を含む有色のものも存在する。鉱物として存在するほか、植物内や生体内にも微量ながら含まれる。

性質

結晶性(晶質性)シリカと非結晶性(非晶質性)シリカ

シリカは圧力や温度などの条件により、様々な形(結晶多形)をとる。これによりシリカは石英などの結晶性シリカと、シリカゲル・未焼成の珪藻土や生物中に存在する非結晶性シリカの 2 つに大別される。

不溶性の結晶性シリカの一つであるクリストバライトの粉塵に関しては、国際がん研究機関(IARC)より発がん性があるとの指摘がされていたが、1997 年および 2012 年よりヒトに対する発がん性が認められるグループ 1 に分類されている。なお、食品添加物や顔料、健康食品、飲料水として使用されているシリカは非結晶性のものであり、ヒトに対する発がん性を分類できないグループ 3 に分類されている。注意しなければならないのは、水晶などの鉱物をプラズマ化し、液体にして販売しているグループがある。これは毒物に指定されている薬品を混ぜ、水溶液にしているものである。

生物学上のシリカ

生物の中には、二酸化ケイ素の形でガラス質の骨格や殻を形成するものがあり、一部のシダ植物、イネ科の植物、コケ植物などのプラント・オパールや、ケイソウ類、放散虫などの骨格、枯草菌が作る芽胞などに利用されている。また、植物一般において成長促進や環境ストレスの低減、病害虫への耐性向上の効果がある。

人体中のシリカ

水溶性のシリカは人体にも微量ながら含まれており、体液(血液・唾液等)、毛髪・爪・血管・骨・関節などに含まれ、特に骨形成の細胞層に集中している。生体中には約 29 ppm が存在し、免疫力に影響を与えたり、唾液による歯垢清掃、肌の保湿、骨や髪、爪、コラーゲンの再生・構築・補強・維持を手助けしている。成人 1 日あたり 10~40mg のシリカが消耗される。現在、1 日あたりの摂取量は定められていない。なお、シリカは人体中に取り込まれた場合(特に飲用、飲食)は 6 時間後に排出される。通常はケイ素を多く含む植物(もみ殻、玄米、あわ、ほうれん草、バナナ、レーズンなど)を十分摂取することで補えるが、もみ殻など硬いため食品に適さないものもある。ミネラルウォーターや健康食品は特にヨーロッパや米国で健康食品としても市販されている。

当社のもみ殻パウダーについて

「もみ殻微粉化技術開発と新事業化」を申請し、平成26年度、経済産業省から認定を受ける。
 飲用方法 微粉末の場合 ①熱湯に5～8gを毎日2回(朝食後と就寝前)溶かし飲用(お湯が冷めてからコーagenを入れても良い)平時、食物繊維の多い食事をされている方は3g～5g、肉食の多い方は5g～8gぐらいが良いでしょう。

植物性食品のシリカ含有量(100g中)

もみ殻パウダー	23500mg	ひまわり	15mg
珪藻エキス	2850mg	西洋わさび	13mg
カラス麦	595mg	パセリ	13mg
きび	500mg	かぼちゃ	7mg
大麦	233mg	サラダ菜	7mg
じゃがいも	200mg	いちご	6mg
小麦(全粒)	158mg	セロリ	4mg
きく芋	36mg	インゲン豆	1.6mg
赤かぶ	21mg	キャベツ	1.6mg
とうもろこし	19mg	なし	1.5mg
アスパラガス	18mg	りんご	1mg
ライ麦	17mg	さくらんぼ	1mg

当社もみ殻パウダーのシリカ含有量

もみ殻パウダー量	シリカ含有量
100g	23500mg
10g	2350mg
9g	2115mg
8g	1880mg
7g	1645mg
6g	1410mg
5g	1175mg
4g	940mg
3g	705mg
2g	470mg
1g	235mg

食品分析

検体名: 稲由来 セルロース

2012年12月7日

栄養分析: 8項目(備考1)

検査項目	結果	定量下限	検査方法	備考
エネルギー熱量	149kcal / 100g			2
水分	8.5g/100g		常圧加熱乾燥法	
タンパク質	2.2g/100g		ケルダール法 係数: 6.25	
脂質	0.8g/100g		酸分分解法	3
糖度	1.6g/100g			
食物繊維	63.1g/100g		プロスキー法	
灰分	23.8g/100g		直接灰化法	
ナトリウム	7.6mg/100g		ICP 発光分析法	
食塩相当量	0.1g/100g未満		ナトリウムよりの換算値	
カルシウム	61mg/100g		ICP 発光分析法	

備考1: 検査方法: 栄養表示基準における栄養成分等の分析方法等について(衛新第13号平成11年4月26日)によった。

備考2: 熱量換算係数: タンパク質: 4、脂質: 9、糖質: 4、食物繊維: 2

備考3: $100 - (\text{水分} + \text{タンパク質} + \text{脂質} + \text{食物繊維} + \text{灰分})$

試験検査成績書

埼玉協検第 OB191138-01 -02 号

2019年11月28日

様

試験品の名称 穀類パウダー

P.

付記事項 2019年9月製造

厚生労働大臣登録検査機関

一般社団法人

埼玉県食品衛生協会検査センター

〒330-0855 埼玉県さいたま市大宮区上小町1450番地

2019年11月14日付で提出された試験品について行なった検査の結果は下記のとおりです。

試験結果

検査項目	検査結果	検出限界	分析方法
EPN	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
エディフェンホス	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
イトプロホス	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
イトリムホス	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
カスサホス	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
キナルホス	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
クロルピリホス	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
クロルフェンホス	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
ジメチルピホス	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
ジメエート	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
ダイアジノン	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
チオメソ	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
テルブホス	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
トリアゾホス	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
トルクロホスメチル	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
パラチオン	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
パラチオンメチル	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
ピラクロホス	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
ピリホスメチル	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
フェニトロチオン	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
フェンスルホチオン	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
フェンチオン	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
フェントエート	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
ブタミホス	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
プロチオホス	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
ホサロン	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
ホスチアゼート	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
マラチオン	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法

試験検査成績書

埼玉協検第 OB191138-01-01 号

2019年11月28日

様

試験品の名称 穀類パウダー

付記事項 2019年9月製造

厚生労働大臣登録検査機関

一般社団法人

埼玉県食品衛生協会検査センター

〒330-0855 埼玉県さいたま市大宮区上小町1450番地

令和元年11月14日付で提出された試験品について行なった検査の結果は下記のとおりです。

試験結果

検査項目	検査結果	検出限界	分析方法
BHC($\alpha, \beta, \gamma, \delta$)	不検出	0.02 ppm	ガスクロマトグラフ法
DDT類	不検出	0.02 ppm	ガスクロマトグラフ法
アルドリン	不検出	0.005 ppm	ガスクロマトグラフ法
エタフルラリン	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
エトリジアゾール	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
エンドリン	不検出	0.005 ppm	ガスクロマトグラフ法
キントゼン	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
クロルデン(cis,trans)	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
ジコホル	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
ディルトリン	不検出	0.005 ppm	ガスクロマトグラフ法
テクナゼン	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
テトラジホン	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
テフルトリン	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
トリフルラリン	不検出	0.005 ppm	ガスクロマトグラフ法
ハルフェンプロックス	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
フェンプロパトリン	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
ヘプタクロル	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
ヘプタクロルエポキシド	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
ベンフルラリン	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法
オキシクロル	不検出	0.01 ppm	ガスクロマトグラフ法

